

令和元年度 半田市障がい者自立支援協議会 強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）ダイジェスト

発行元：半田市 令和2年2月

本研修は、日頃から知的障がい児・者等を支援している事業所の職員が、障がい特性を理解し、支援手順書通りに適切な支援ができるようになることを目的に開催しております。昨年度より、半田市、常滑市、武豊町、美浜町、南知多町の2市3町で共同開催し、各市町の支援方法等の情報共有を図っています。

- 日 時 1日目：共通日程
令和元年11月10日（日）
2日目：グループ別日程
A日程：令和元年11月12日（火）
B日程：令和元年11月15日（金）
- 場 所 常滑市役所 2階 大会議室
- 参加人数 58人



☆まとめ☆

*基本知識を学んだ上で、デモンストレーション等を通して実際に疑似支援をすることで、支援のイメージや知識を具体的にもつことができます。

実際の支援現場においては、さまざまな特性が複雑に絡み合い、一般的に有効とされている支援方法がうまくいかないことがあります。そのような場合でも、何度もアセスメントを繰り返しながら、本人の特性を理解し、他の支援者と連絡・相談をしながら、本人の特性に合った支援方法を根気よく探っていくことが大切です。

☆1日目：共通日程☆

*発達障がいや知的障がい、行動障がいなど、それぞれの特性や支援のプロセスなどを学びました。

演習では、軍手をはめて手先の不器用さを体感したり、丸めた紙を通じて周りを見ることで、視野の狭さ、周りの状況の理解のし辛さを体験したりしました。

障がい者が感じていることを自分も体験することで、実際の支援やアセスメントする際に、注意する視点を増やすことにつながります。

☆2日目：グループ別日程☆

*行動障がいの特性を分析するためのアセスメント方法や、冰山モデルを使った支援方法の考察、実際に用意されたモデルケース・支援手順書に沿った支援を実践しました。

モデルケースの障がい特性を理解し、支援手順書を読んでから支援を行ったにも関わらず、想定と違う動きをされると思わず強く手を引いて静止してしまうなど、障がい特性にマッチしない支援や、アセスメントや支援手順書と違う支援をしてしまう場面が多くみられました。



問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（法安）

TEL 0569-21-5585

半田市福祉部地域福祉課（富田・木原）

TEL 0569-84-0641

